



ほほえみ

大竹市社協だより

2026.3.1
(令和8年3月1日)

第216号



餅つきの様子

で開催された

令和8年1月21日(水)
「子育てサロンすこやか」内



餅つきの様子を動画でも紹介
しています。QRコードを
み取るとご覧いただけます。



ふれあいネットワーク

愛ちゃんと希望くん



この広報紙は共同募金（赤い羽根）配分金を受けて発行しています。

よりそいサポートセンターです！ ひとりで悩まず、ご相談ください。

🔔 クリスマスプレゼントをお届けしました 🔔

毎年恒例のクリスマスプレゼントを子どもたちにお届けし、素敵な笑顔であふれました。

子どもたちは、楽しいクリスマスを過ごせたことと思います。



🎅 年末巡回しました 🎅

年越しそば・正月飾り(餅)などをお届けし、様子を伺いました。

お届けされた方は、とてもお喜びで、心が温かくなっていただけだと思います。



**お菓子やおそばや正月飾りなどは、地域の方からのご寄付です。
心から感謝申し上げます**

【相談・問い合わせ】 地域福祉課 よりそいサポートセンター

TEL (0827)35-5300 FAX (0827)53-8122 メール yorisoi@otake-shakyo.or.jp

大竹さつき作業所・アイビー作業所 「ぷらっとほーむ」

利用者募集

私たちと一緒に作業をしませんか？

就労継続支援B型事業所とは、一般の企業で働くことが難しい方が、内職のような作業をして得た作業収入を工賃として分配する事業所です。

出勤する日数で異なりますが1か月の工賃は2,000円～12,000円程度です。



作業所を利用するために、障害者手帳は必要ありません。

主治医の意見書と受給者証が必要です。

(詳しくは市・福祉課障害福祉係、各障害者相談支援事業所にお問い合わせください)



就労継続支援B型事業所
大竹さつき作業所

TEL (0827) 57-3935

就労継続支援B型事業所
アイビー作業所

TEL (0827) 35-6655

〒739-0624 大竹市御園2丁目11-15 FAX (0827)35-5758 (共通)

社協ヘルパーに やりがいを聞いてみました

ヘルパーの仕事の様子を
動画(優男がゆく)で紹介しています。
QRコードを読み取るとご覧いただけます。



ヘルパーの動画①



ヘルパーの動画②

利用者さんの
笑顔を見られるところ

個別ケアが出来て
喜んで頂けるところ

1人1人に
寄り添う事ができ
利用者さんの笑顔や
あたたかい言葉が
やりがいです

自分のできることで
少しでも役に立ち
ありがとうと言って
もらえること...

うれしそうな顔
帰る時にありがとうと
言ってくださる言葉に
元気をもらいます

色々な方がいて
仕事をさせてもらって
いますが勉強も
させてもらっています

本人だけでなく
ご家族の力にも
なれる学びがある



亀の甲より
年の功と思うことが
沢山あります

大竹市社協訪問介護事業所 TEL (0827)52-2227

あなたの笑顔が、みんなの元気になる・・・

介護職員初任者研修受講生 募 集

日 時：令和8年6月13日～令和8年9月19日 *毎週土曜日 9:00～

会 場：大竹市総合福祉センター・サントピア大竹(駐車場あり)

定 員：先着 15名

受講料金：33,000円(テキスト代・税込み)

対 象：現在、大竹市にお住まいの方

申込期間：令和8年4月2日(木)～令和8年6月5日(金)

申し込み・お問い合わせ先 大竹市社会福祉協議会(大竹市地域包括支援センター)
TEL(0827)53-1165 (受付時間：土・日・祝日を除く9:00～17:00)

大竹市資格取得等支援事業対象講座です。
詳しくは「大竹市HP 介護・福祉人材確保
(資格取得等支援)事業」をご確認ください。
QRコードを読み取ると大竹市のHPへ
アクセスできます。



大竹市HP
介護・福祉人材確保
(資格取得等支援)事業



2/10 立戸2丁目



立戸2丁目自治会長 向井 さえ子さん

川岡元民生委員さんが声をかけてくれたことがきっかけでマップ会議に参加するようになりました。「立戸2丁目はわからないことがいっぱい」と感じていましたが、皆さんからのお話していろんなことを知ることができました。そのおかげで地域の皆さんに親しみを込めて挨拶ができるようになったと感じています。また、マップ会議で企画に結びついた非常食づくりの時間も子ども会との交流となり良かったと思います。これからもみんなで家族のような雰囲気の中で楽しくおしゃべりしながら続けていきたいです。

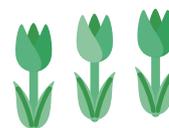
立戸2丁目福祉委員 川岡 信子さん

「何十年もここに住んでいるのにこんなにも知らなかったんだ」と感じるが増えました。それまでは主人が地域の付き合いごとなどをしてくれていましたが、福祉委員になり、自分もマップ会議やサロンに関わるようになったことで「電気がついてるか」など皆さんが元気かどうか気になるようになりました。こういった活動に参加することは人のためだけでなく自分自身のフレイル、介護予防につながると思っています。マップ会議では学生さんや皆さんともお話ができるので毎回楽しみです。



立戸2丁目福祉委員 岩本 由美さん

コロナ禍の自粛生活によって地域のみなさんとのふれあいがなくなり、不安の日々を過ごしていました。しかし、福祉委員になりマップ会議に参加し始め、地域のみなさんとの関わりが増えたことで安心を得ることができました。また、マップ会議の中でも一人暮らしの方々の把握、サポートの共有をすることで、地域の安心安全な暮らしを少しでもサポートすることの大切さを学んでいます。これからも福祉委員としてできる範囲で頑張っていきたいと思っています。



支え合いマップづくりに取り組んでみませんか？
一緒に住みよい地域を作っていきましょう！！

問い合わせ 大竹市地域包括支援センター(浴まで)
TEL (0827)53-1165

プロジェクト ～社協の挑戦～



なかよく あったか このまちで もしものときの 支え合いマップづくり

社会福祉協議会では、災害時や非常時に支え合えるようなまちづくりを目的に地域の皆さんと、支え合いマップづくりに力を入れています。

現在、市内10地区がこのマップづくりに取り組んでいます。今回は、その中から 玖波6丁目と立戸2丁目を紹介します。

支え合いマップ は、自治会単位で進めています。

地域のことをよく知っている皆さんが集まり地図を広げて、日々生活する中で気になることを話し合っています。

その中で、今まで気づかなかったこと、知らなかったことが見えてきます。それにより、隣近所の人への興味関心が高まって、声かけや、ちょっとした手助けのきっかけになることを期待しています。



1/15 玖波6丁目



玖波6丁目民生委員・児童委員 重村 正枝さん

マップ会議に参加してみて、「民生委員一人で関わらなくてもいい、みんなで関わればいい」という安心感を持つことができています。ここで皆さんと地域のことを話し合えることで様々な情報共有もでき、その情報によって、社協、包括をはじめとした関係機関とも連携をしながら、その人に合った関わり方をみんなで考えることも出ています。認知症の方でも、その人らしく、地域で自立した生活ができるように支えていきたいと思えます。

玖波6丁目自治会長 下川 よしゆき 恵敬さん

マップ会議に取り組んで感じたのは自分が住んでいる地区だけ知らないことが多かったということです。みんなで集まって話をすることで「そうだったのか」ということが自分自身増えました。マップを作っていたら災害時にもつながると感じます。

6丁目は高齢者が多いので、このマップ会議をすることで、みんながお互いに顔を知り、こもりがちになる人を見つけるきっかけになればと思います。誰と会ってもお互いに話や挨拶ができるような関係になればと願っています。これからも続けていきたいです。

障がい児・者『みんなのスポーツ体験会』

12月14日(日)アゼリアホールにて第3回みんなのスポーツ体験会を開催し、36名の方が参加してくださいました。

保護者の方の参加も多く、「ストレス発散になる!」と親子で楽しまれ大変盛り上がった体験会となりました。来年度も開催する予定なので「またやってみたい!」と思った方は、ぜひ遊びに来てください。



問い合わせ・ご相談
〒739-0603

おおたけししやう しや そうだん し えん
大竹市障がい者相談支援センター TEL (0827)52-0167

大竹市西栄2-4-1 (大竹市総合福祉センター サントピア大竹 1階 地域福祉課)

FAX:(0827)53-8122 メール:soudan@otake-shakyo.or.jp

こんにちは!大竹市地域包括支援センターです。



『このまちで「支え合い・共に生きる」ために

わしらが活躍できることについてみんなでわいがやしようや』開催報告

「聞こえない人に私ならどう寄り添うか、聞こえなくなった時に私ならどう寄り添ってほしいか」について、我が事として考える場を昨年12月16日(火)にアゼリアおおたけにて開催しました。

前半は、聴覚に障がいがある方、支援する方をはじめ地域の皆さんで「日々の生活の中で不便さを感じる」「こういった手助けがあれば」をテーマにわいがやと座談会をし、後半は「前半の話聞いての気づき」「自分にできる手助け」「自分が欲しい手助け」についてグループワークを通し皆さんで共有しました。

各グループで出てきた内容の一部を紹介します。

- 聴覚障がいには「聞こえない」「聞こえづらい」という障がいがあることがわかった。
- 駅のホームでの放送が聞き取れず、周りの人に聞いたら「えっ?」というリアクションをされる。ある程度は聞き取れるがマイクを通じての音声は聞き取れないことが多い。
- 難聴者だけど心配り、心配り、目配りができる。聞くのはちょっと助けてください。
- 話すときははっきりと口を大きく開けてわかりやすくしてほしい。
- 要約筆記ボード、メモ帳をもって歩く。いざという時、書きながら説明する。また、スマホアプリも活用し文字にできたら。
- 誰もが手話ができて何かあれば助けられるようになれば。



今後も、お互いのことを共有し、ちょっと困ったときでも気軽に助け合えるための仲間づくりのきっかけになるように今回のような場を開催していきます。

問い合わせ: 大竹市地域包括支援センター TEL (0827)53-1165



じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金



皆さまの善意 **4,060,355** 円 が集まりました。(令和8年1月31日現在)

赤い羽根共同募金は「じぶんの町を良くするしくみ」を全国統一スローガンに掲げ、10月1日から募金活動を実施してきました。今年も皆様方から温かいご寄付をお寄せいただき、多くの募金が集まっております。

この募金は、広島県共同募金会へ送金し、地域福祉の向上のため、民間の社会福祉施設や社会福祉協議会、福祉活動の事業費として**市内の学校、地域サロン、ボランティア団体、子育てサロン**など地域福祉活動事業の貴重な財源として活用されます。

また、災害時には「災害ボランティアセンター」の設置や運営など、被災地支援にも役立てられます。

募金活動にご協力いただいた各自治会、民生委員児童委員、学校、企業、一般市民の皆さまをはじめ、関係者の皆さま方には、心より厚くお礼申し上げます。

今後とも、赤い羽根共同募金に対する一層のご支援ご協力の程よろしくお願いいたします。

募金種別実績内訳

(円)

戸別募金	3,103,420
街頭募金	111,551
法人募金	726,000
学校募金	26,031
職域募金	93,353
募金総額	4,060,355

1万円以上ご協力いただいた企業・事業所(法人募金)(敬称略・順不同)

三菱ケミカル(株)広島事業所	御幸町	(有)大竹葬儀社	本町1
三井化学(株)岩国大竹工場	和木町	(株)谷岡保険事務所	立戸2
三井・タチホリケミカル(株)大竹工場	東栄2	田中建設工業(株)	小方1
(株)ダイセル大竹工場	東栄2	大竹碎石(株)	防鹿
日本製紙(株)大竹工場	東栄2	栗本五十市商店(株)	晴海2
サカネテクノ(株)	北栄	大竹市歯科医師会	玖波1
(株)マルニテック	北栄	川口歯科医院	玖波1
(有)森本製作所	南栄1	佐川内科医院	玖波2
バムクーヘン歯科クリニック	西栄1	(有)さかもと家電	玖波5
一般社団法人大竹市医師会	油見3	メープルヒル病院	玖波5
税理士法人前田会計事務所	油見3	(有)大井水産	阿多田
イソヤ電機(株)	元町1		

募金箱設置のご協力機関

- 大竹市内小学校●中学校●大竹高等学校(計7校)
- ゆめタウン大竹店●ゆめマート西栄店
- エディオン(株)ゆめタウン大竹店
- 仁田ショップ
- 総合市民会館
- 大竹支所●玖波公民館
- 栄公民館●大竹市立図書館
- 大竹市総合福祉センター 

能登半島地震 災害義援金 3,760円

ご協力ありがとうございました



赤い羽根共同募金について
動画で詳しく紹介しています。
QRコードを読み取るとご覧いただけます。



大竹市共同募金委員会事務局 (大竹市社会福祉協議会 総務課内) TEL (0827)53-8120

**あたたかいご寄付
ありがとうございます**

令和7年12月1日から
令和8年1月31日まで

皆様からいただいたご寄付は、福祉のまちづくりのために、有効に活用させていただきます。
ここに、ご芳名を掲載させていただきます。ご希望の順に、厚くお礼申し上げます。(敬称略)
※金額表示につきましては、ご寄付者のご意向によるものです。

◆香典返しにかえて

金一封 夫 文昭 福島雅子 元町3
母 邦子 吉原佳子 南栄2

◆一般寄付

八千円 山口県東部ヤクルト販売株式会社
代表取締役会長 山本公総
第48回福祉ヤクルト寄付金として

金一封 匿名

東南アジアの子どもを就学

させるため

井戸端サロン美ん美ん

マルシェの売り上げ金の

一部(100円)

金一封 匿名

五万円 三井化学労働組合

歳末助け合い募金として



三井化学労働組合

◆さつき作業所指定寄付として

金一封 匿名

◆物品寄付

飲料水 2L×30本
三菱ケミカルエンジニアリング
株式会社

《合計金額 8件 19万4千円》

定例的な事業

事業名	とき	時間	内容
子育てサロン「すこやか」	毎週水曜日	10時00分～12時00分	親子同士がふれあう憩いの場です。
認知症の人との集い「やすらぎの家」	毎月第2・4水曜日	10時00分～15時00分	認知症の人が集う憩いの場です。
サークル「青空」	毎月第1木曜日	10時00分～12時00分	心の病気をもちの方が一緒に過ごす憩いの場です。
サークル「憩い」	毎月第4木曜日	10時00分～14時00分	精神障がいをお持ちの方が楽しく集える場所です。
ひきこもり支援定例会	毎月第4火曜日	10時00分～11時30分	ひきこもりについての情報交換、つながりの場です。

学習会

事業名	とき	時間
手話「さつき」	毎月第2・4火曜日	19時00分～20時30分
手話「ママとKAMEの会」	毎月第1・3木曜日	10時00分～12時00分
手話「ぼぼんた」	毎月第2・4月曜日	10時00分～12時00分
点字「あけぼの」	①月初め(広報等の点訳) ②第4土曜日(勉強会)	9時30分～13時30分 15時30分
「あけぼの」音訳	毎月第2・4金曜日 (3月は2・4土曜日)	10時00分～12時00分
要約筆記「ふたば」	毎月第1・3土曜日	13時00分～15時00分

相談窓口

事業名	とき	時間
司法書士による相談(要予約)	毎月第3木曜日	13時00分～16時00分
よりそいサポートセンター	月～金(祝日休み)	9時00分～17時00分
障がい者相談支援センター	月～金(祝日休み)	8時30分～17時15分
地域包括支援センター	月～金(祝日休み)	8時30分～17時15分
まるっと大竹	月～金(祝日休み)	9時00分～15時00分

編集後記

今年の干支(えと)は「丙午(ひのえうま)」です。十干(じっかん)の「丙(ひのえ)」と、十二支の「午(うま)」はどちらも火の属性を持ち、近年では、情熱や勢いの高まる六〇年に一度巡ってくるとても縁起の良い年とされ、物事が動き出す転換期になると言われています。
社会福祉協議会や様々な地域活動は、これに携わる関係各位の熱意で大きく発展し、現在の姿になってきたのだと思います。情熱、成長、飛躍といった意味を持つ「丙午」の二〇二六年、関係者一同が益々発展していく契機となるように頑張っていきたいと思います。
※十干は古代中国で生まれた一〇の要素の順列で、十二支と組み合わせると六〇通りになります。これが干支で、六〇年で一巡することを還暦と言います。

申込み・問い合わせはいつでも **大竹市社会福祉協議会** TEL 52-2211 FAX 53-8122

編集発行: 大竹市社会福祉協議会(大竹市西栄二丁目4番1号 大竹市総合福祉センター[サントピア大竹]内)
メールアドレス <info@otake-shakyo.or.jp> ホームページ <http://www.otake-shakyo.or.jp/>

お詫び

3月号に掲載しました記事におきまして、誤りがありましたので、訂正させていただきます。

P8、学習会の表

(正)「あけぼの」音訳 毎月第2・4金曜日

(誤)「あけぼの」音訳 毎月第2・4金曜日

(3月は2・4土曜日)

※「あけぼの」音訳は3月も通常通り、第2・4金曜日の予定です。

関係者の皆さまには大変ご迷惑をおかけいたしましたこと、深くお詫び申し上げます。

誠に申し訳ございませんでした。